

えひめの暮らし

—生計費モニター—通信—

NO.112

2005年6月1日



気をつけて 悪質リフォーム



埼玉県で認知症の姉妹が全財産を失った訪問リフォームでは、19社で57回計5,000万円のリフォーム工事をしたことになっていますが、ひどく悪質なものでした。全く必要のない工事であったり、相場を大きく上回る請求額、そればかりか、約半数は実際には施工していない「架空請求」の可能性が高いことも指摘されています。

6月7日付けの愛媛新聞の記事によると、松山市山越町の県生活センターに昨年度寄せられた住宅関連の苦情は約150件。床下換気扇46件、屋根工事29件、耐震補強工事24件などで、複数業者との契約トラブルも少なくないそうです。トラブルに遭いやすいのは高齢者で、「本人が被害と自覚していない例も多い」そうで、子どもや福祉関係者が様子を見に行った際に工事が発覚するが、8日間のクーリングオフ期間を過ぎていることも多いみたいです。たいていの場合、費用は高額だが「工事価格の妥当性を判断するのは困難」で、相談は解約方法や二次被害の防止に限られるのが現状だそうです。

昨年11月に特定商取引法が改正され、販売などの勧誘をする前に、販売が目的であることを消費者に告げることを義務付けました。それにより、点検商法といって「床下を調べさせて」と点検してから換気扇の取り付け工事を勧めたり、「水質検査にきました」と言って、浄水器を販売したりすることは違法になりました。しかし、悪質業者は法改正を知った上で違反を繰り返しており、「このままでは危険」と不安をあおる手口は後を絶ちません。

被害に遭わないようにするには、すぐに契約したりお金を振り込んだりしないことです。「今なら半額で」などと即断をせまる業者は要注意です。一人で決めずに家族や信頼できる知人の意見を聞いてからでも遅くありません。特に住宅関連工事は高額になることもありますので、2~3社から見積もりを取ることも考えましょう。万一、被害に合ったと思ったときには、生活センターや行政の消費生活相談などに相談しましょう。クーリングオフが間に合うようだと解約できますし、仮に相談の問題は解決できなかったとしても、二次被害を防いだり、悪質業者の摘発につながったりということもありえます。

4がつのデータ (2005年4月分)

世帯の状況

		2004年 4月	2005年 3月	2005年 4月
調査対象数(世帯)		177	241	231
世帯主年齢(歳)		42.7	42.5	42.7
平均家族数(人)		3.7	3.8	3.8
職 種 (%)	公務員	13.6	14.5	14.7
	会社員	72.9	71.8	72.7
	自営業等	6.2	7.9	6.5
	無職	7.3	5.8	6.1
世 帯 主 年 齢	20～29歳	6.2	2.9	3.0
	30～39歳	42.4	44.0	42.4
	40～49歳	28.2	33.2	34.2
	50～59歳	15.3	13.7	14.3
	60歳以上	7.9	6.2	6.1

実収入

合 計	470,845	437,948	478,640
給料(夫)	321,399	329,819	335,609
(妻)	21,585	28,408	28,749
賞与(夫)	3,834	1,680	1,406
(妻)	203	50	0
公的年金(夫)	28,812	503	21,497
(妻)	8,855	0	9,216
自家営業	22,436	17,524	19,628
家賃・地代収入	3,387	3,285	4,370
パート・アルバイト収入(夫)	403	1,107	926
(妻)	21,079	19,898	21,340
同居家族からの収入	3,758	2,603	3,629
私的年金(夫)	3,444	0	4,383
(妻)	2,331	2,535	784
その他の収入	29,319	30,538	27,102

実支出

	2004年 4月	2005年 3月	2005年 4月
合 計	497,790	457,094	502,859
消費支出	345,925	330,363	352,385
食 費	54,641	54,899	55,827
住居費(家賃・地代)	39,001	40,321	42,453
住居費(その他)	18,789	16,306	13,807
水・光熱費	15,840	19,479	18,159
被服費	13,475	15,005	16,199
保健医療費	12,402	9,435	10,963
理容衛生費	9,702	8,318	7,786
交際費	20,981	18,870	15,746
交通費	5,340	5,416	5,443
通信費	12,893	13,728	13,340
教育費	69,114	45,579	67,913
教養娯楽費	15,909	15,942	17,237
職業・主婦費	32,995	31,248	35,342
自動車関係費	18,880	28,741	23,822
その他	5,964	7,075	8,348
非消費支出	151,865	126,730	150,474
税金	44,568	16,463	39,784
社会保険料	53,178	44,439	43,583
私的保険料	47,033	58,378	60,036
その他非消費支出	7,086	7,450	7,072

別 掲

積立・定期預貯金	37,281	31,819	42,120
----------	--------	--------	--------

再 掲

住宅ローン返済額	27,551	27,154	31,253
住宅以外借入金返済	4,816	5,057	7,262

特別支出

自動車購入費(3件)	4,654,400
------------	-----------

4 月 の お た よ り か ら

★配水管の高圧洗浄工事をしました。築 14 年、一度も配水管の清掃はしたことがありませんでした。汚れマスは年 1~2 回掃除していましたが、排水の流れは最近悪く気になっていました。台所、浴室、洗面所と全ての配水管を洗浄し、16,000 円 (税込) で妥当な金額かなと思いお願いしました。排水はよくなり汚泥除去により臭いもなくなりました。訪問施工も時には OK かなと思いました。業者にもよるとは思いますが、確かな目を持つ必要はあると思っています。

★家を新築して初めて固定資産税を支払った。ローン減税の分で充てられてよかったが、これもいつまでもあるわけではない。また、年度始めは各保険の掛け金や会費などの支払いで出費が多い上に、浄化槽の管理費やケーブルテレビの年払いなども 4 月に集中しているので、大変な赤字だ。(43 才)

★上の子が小学生になった。時の流れは早いなあとつくづく感じる。初めてのことにとまどう 4 月でしたが、一番ビックリしたのは「不審者が出ました。ご注意を！」のプリントが 4 月の間に 4 枚も…。なんと子どもにとって住みにくい世の中になったんだろう。すごく、すごく複雑。(34 才)

★春なので、つくしにたけのこ、わらび…と山菜を食べることが多かったのですが。私は主婦歴 10 年にして初めて自分でわらびを灰であく抜きして調理して食べました。その一週間前に、あく抜き不要とラベルの

ついたわらびを調理したのですが、ほとんど抜けておらずおいしくありませんでした。そこで、やはり自分で、と思い立って、母や祖母にきき、灰を探し求め、実践したのです。結果、とっておいしくわらびを食べることができ大満足でした。やっぱりなんでも自分でしてみなくっちゃと 40 を前に実感した私でした。(39 才)

★気候がよくなり、近所の山によく散歩にきました。片道 20 分ほどなので、桜の咲き始めから葉桜まで森林浴をして気分リフレッシュ！ ついでにわらびを何度かいただき春を感じる一ヶ月でした。(36 才)

★主人が転職して少しお給料が上がったと思ったら、子どもたちの保育料がグーンとアップした。よく調べてみると、去年の納税額が上がったためだった。でも年収はそんなに上がってないはず…。なんと、配偶者特別控除がなくなったため、去年の納税額が一昨年よりも増えていた。年末調整だけでなく、今になってこんなところにも影響が出るなんて。(32 才)

★4 月から仕事復帰。収入は増えるけど子ども 2 人が保育所入りします。食事も手をかけて作ることが少なくなり、インスタントやお惣菜の出番が増えるでしょう。家族との時間も少なくなります。日々大きくなる子どもたち。家族が一緒にいられるのもあと何年？と考えると 1 日 1 日を大切にしなければなりません。充実した生活が送れるように家族で力を合わせてがんばります。

★今月は長男の入園、長女のスイミングスクール入会など何かと物入りでした。長女が車のドアで指を挟んで怪我をするというアクシデントまで起きてしまいました。子どもにはとてもお金がかかります。せめて6歳まで医療費を無料にしてほしいものです。

★新しい職場に移り1ヵ月。忙しくてなかなか記帳できず、まとめて書いたりすることもしばしば。でも忙しいからこそ、お金の流れをきちんと把握しておかなければ、との思いで頑張っています。無駄をなくして、次のステップに、というわけにはなかなかいきませんが。(37才)

★4月から生命保険を見直し、違うものに入りなおしました。配当金のようなものがないからか、今入っているのは月々の掛け金が安く、しかも入院1日目から給付されるものになり、見直してよかったと思っています。保険って分かりにくいと思っていましたが、この見直しをきっかけに少し興味がわいてきました。毎月の消費支出を見直すことは毎月すると思いますが、非消費支出のほうも再度見直してみることをおすすめします。(31才)

★夫の急な入院があり、金銭的にかなり不安がありました。幸い、入院期間が短くすんだので助かりましたが、そのかわり今加入している生命保険は短期の入院では給付金が出ませんでした。医療技術の進んでい

る今、短期の入院ですむ場合が多いので、生命保険の見直しをしようと思います。それにしても入院というものは医療費だけではなく、お見舞い返しやその他いろいろとお金がかかるものですね。コープのたすけあい共済の給付金のおかげでなんとかまかなえました。(42才)

★4月というのは、学校、幼稚園の教材費が何かとかかり、おまけに小学生の子ども通信教育の年間教材費の支払いが加わり、とんでもない出費額に驚いた。これが高校、大学となればどうなるのか? 「学ぶ」ことは子どもにとっては大切なことではあるが、近年、教育にかかるお金は高すぎではないだろうか? 幼い子を持つ親としては頭の痛い問題です。(36才)

★公務員の給与カットがありました。私のところは社会福祉の法人です。公務員ではないけれど準ずるとのことで給与カットです。でも、基本的な保障など全然違うのに、給与の額も公務員と比べてすごく低いのに、カットのときは一緒なんて…。仕事も給与も有るだけましとは言うものの、おもしろみは全然です。おまけに、様々な税金やガソリンなど物価も気になります。がまんして仕事続けるか、思い切って次の人生考えるか、今すごく悩んでいます。(36才)



編集 愛媛生計費調査委員会

発行 えひめ勤労者生活情報センター

〒790-0066 松山市宮田町132番地

TEL 089-933-2871

愛媛県生活協同組合連合会

〒790-0952 松山市朝生田町3-1-12

TEL 089-931-5207